

科目分類	助産学基礎科目		開講時期	1年 前期		
授業科目	助産学概論					
選択/必修	必修	単位数(時間数)	1単位	1.5時間	授業形態	講義
担当教員	野々山 未希子					
メールアドレス	m-nonoyama@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	指定なし・事前連絡必要			

到達目標	<p>1) 助産師および助産師活動の概念を説明できる。</p> <p>2) 母子保健と助産の変遷について説明できる。</p> <p>3) 性・生殖と人権について理解する。</p> <p>4) 助産実践に関連する生命倫理について理解する。</p> <p>5) 助産師の国際活動と海外の母子保健の課題について説明できる。</p>
授業概要	<p>助産の概念、助産師の役割と責務、女性の健康と人権に関わる助産師実践活動など、助産および助産師活動の概要について学修する。また、自己の助産師観および今後の学修・活動への自己の意欲・決意を認識する機会とする。</p>
授業内容	<p>第1回 助産の概念、助産師とは 助産師とは、助産の概念</p> <p>第2回 助産の概念、助産師とは 助産師の業務範囲、助産師の役割</p> <p>第3回 助産師活動の概要、母子保健と助産の変遷</p> <p>第4回 海外活動と母子保健 助産師の国際活動、助産活動に関わる海外の母子保健</p> <p>第5回 性・生殖の健康と人権 リプロダクティブヘルス/ライツ、男女共同参画社会、 性差医療・女性医療</p> <p>第6回 性・生殖の健康と人権 DVと女性の人権、人工妊娠中絶、児童虐待</p> <p>第7回 助産に関わる生命倫理</p> <p>第8回 助産に関わる生命倫理 グループ討議とまとめ</p>
教科書・参考書等	<p>教科書：助産学講座1 基礎助産学〔1〕助産学概論 第6版. 医学書院</p> <p>参考書：必要時、提示する。</p>
成績評価基準・方法	<p>課題レポート 50%、最終レポート 50%に参加態度・グループ討議を含めて総合的に評価する。</p>
履修要件	なし

留意事項・
その他

自分で考え、学習成果をまとめて、意見を発表することが求められる。
課題の作成にあたっては、各自で資料を収集し、積極的に討議に参加すること。
自分が助産師になりたいのかを再認識・確認する機会でもあるため、助産師活動への疑問、思いなどは、言葉として表出すること。
本科目を修得していないと、助産学実習ⅠⅡⅢⅣは履修できません。